

令和4年3月25日

令和3年度附属小学校経営評価に関する保護者アンケート結果

鳥取大学属小学校
校長 山下 博樹

保護者の皆様にご協力いただきました標記の件について、結果をご報告申し上げます。今後とも、附属小学校教育へのご理解とご支援の程、よろしくお願いいたします。保護者の皆様におかれましては、アンケートへのご協力ありがとうございました。

- ・回収率 95.8% (昨年度93.8%)
- ・回答方法 評価1～5の選択 及び 自由記述
- ・評価

1 とてもよい 2 だいたいよい 3 あまりよくない 4 よくない 5 よくわからない

		評価1 + 2	昨年度
	〈項目1 学ぶ意欲と学力の向上〉		
1 - ①	【学ぶ意欲】	96%	95%
1 - ②	【学力向上】	94%	95%
1 - ③	【教育環境】	93%	67%
1 - ④	【新型コロナ対策】	98%	※データなし
	〈項目2 魅力ある学校〉		
2 - ①	【各種体験活動・学校行事】	96%	89%
2 - ②	【外国語・英語活動】	93%	92%
2 - ③	【GIGAスクール構想】	90%	87%
2 - ④	【知的財産創造教育】	82%	83%
	〈項目3 人権尊重と帰属意識 ・規範意識の育成〉		
3 - ①	【人権尊重・帰属意識】	95%	95%
3 - ②	【規範意識】	90%	90%

	〈項目 4 研究成果の還元〉		
4 - ①	【研究成果還元】	90%	90%
	〈項目 5 大学との連携〉		
5 - ①	【キャリアに拓く】	97%	99%
	〈項目 6 附属学校部との連携〉		
6 - ①	【附属学校部】	94%	95%
	〈項目 7 家庭・地域との連携〉		
7 - ①	【連携】	98%	96%
7 - ②	【発信】	97%	81%
	〈項目 8 家庭の取組み〉		
8 - ①	【家庭での様子】	86%	95%
8 - ②	【学校からの連絡】	96%	95%
	〈項目 9 附属 4 校園共通アンケート〉		
9 - ①	楽しく過ごしている。	92%	95%
9 - ②	友達と協力している	95%	96%
9 - ③	積極的（自主的）に学習に取り組んでいる。	85%	83%
9 - ④	分かってくれる人がいると感じている。	93%	91%

回答率

今年度 95.8%

昨年度 93.8%

【結果について】

- とてもよい・だいたいよいの肯定的評価が 95% 以上は、21 質問項目中 9 項目（昨年度は、20 質問項目中 10 項目）
- 昨年度の結果を上回る質問項目は 9 項目（※ 1 - ④【新型コロナ対策】は、昨年度データ無し）
- 肯定的評価が 90% 未満の質問項目は 2 - ④【知的財産創造教育】，8 - ①【家庭での様子】，9 - ③「積極的に（自主的）に学習に取り組んでいる。」の 3

項目

- 昨年度を5%以上上回った質問項目は1-③【教育環境】，2-①【各種体験活動・学校行事】7-②【発信】の3項目
- 昨年度を5%以上下回った質問項目は8-①【家庭の様子】の1項目のみ
- 昨年度と今年度いずれも90%以上の肯定的評価の質問項目が13項目
- 2-④【知的財産創造教育】と9-③「積極的に学習に取り組んでいる」の質問項目は昨年同様80%台

〈項目1 学ぶ意欲と学力の向上〉

1-①【学ぶ意欲】については、グループによる協働的な学びにより様々な面や視点の考えから気づきを得ることができているという肯定的評価をいただきました。新型コロナウイルスの感染防止等、教育上で難しいところがありますが、引き続き対応して参ります。1-②【学力向上】については、一人一人の理解を把握して指導する難しさに理解をいただいている一方で、授業を進める速さについてご意見をいただきました。実施した標準学力調査や習熟度テストをもとに、児童一人一人の学習の定着度を確認し、必要に応じて補充しながら学習を進めて参ります。1-③【教育環境】については、トイレの汚れについてご指摘をいただきました。トイレの使い方の指導を徹底するとともに、清掃の仕方を検討して参ります。校庭整備については、大変肯定的な評価をいただきました。児童が校庭で活動する教育環境が整うとともに、校舎北側の駐車場を活用することにより、行事の際の保護者駐車場も停めやすくなりました。1-④【新型コロナ対策】については、大型熱交換形換気機器ロスナイの設置に高評価をいただきました。参観日などの感染防止策も肯定的な意見が多い一方で、マスクの管理方法についてご指摘をいただきました。衛生管理、紛失防止の観点からも対応を検討して参ります。

〈項目2 魅力ある学校〉

2-①【各種体験活・学校行事】については、知恵を出してやるべきことをやれる形で行う学校の姿勢について高評価をいただきました。一方、検討を重ねる過程で時間を要したことに対して、変更検討、判断が遅いというご指摘もいただきました。感染状況を見ながらの判断となりますので、ご理解が得られるように情報提供をして参ります。留学生との交流は、本校の特色ある取組みの一つです。交流活動の持ち方を工夫して、実施していきたいと考えます。運動会の各家庭1名参加は仕方がないと言われつつも、子供にとっても少し寂しさがあったとの感想をいただきました。感染状況を見ながら、参加者数や競技数の検討をして参ります。2-②【外国語・英語活動】については、ALTとの触れ合いを評価していただいているものの、ぜひもっと多く外国語活動を取り入れていただきたいとの要望を多数いただきました。外国語活動・外国語について、学習指導要領では3・4年生で外国語活動、5・6年生で外国語を教科として学習します。1・2年生からの取組みは、本校の特色の一つでもありますので、より充実した学習となるよう努めて参ります。2-③【GIGA スクール構想】は、取組みを評価していただいている中で、取組みの効果を知りたい、学校での取組みを家庭でも参考にしたいと保護者の積極的な関わりを望む感想がありました。一方、ネット上のいじめ問題も含めセキュリティー面等の大切さを学ぶ機会を作っていただきたいとの要望もありました。効果的な活用方法を研究していく中で、ご家庭と共にメディアとの上手な付き合い方を共有しながら進めていく必要があると考えます。5年生で実施しています2-④【知的財産創造教育】は、内容が十分伝わっていないと思われます。今後またよりやホームページ等を通して、学習内容を公開して参ります。

〈項目3 人権尊重と帰属意識・規範意識の育成〉

3-①【人権尊重・帰属意識】は、肯定的なご意見がある一方、もっと縦割り班活動を取り入れてほしいとの要望がありました。コロナ禍の中で異学年交流が難しい現状ではありますが、同学年の仲良しと過ごすばかりでなく、できる形での異学年交

流の在り方を考えて参ります。3-②【規範意識】は、子供の規範意識に加え、登下校の送迎に関わる保護者の規範意識についてもご意見をいただきました。児童の規範意識については登下校の様子に関わる内容が多く、保護者の関心の高さが伺えました。家庭での取り組みや見守りによる部分もあり、学校と家庭、保護者間の連携で、より良い方向に導く必要があります

〈項目4 研究成果の還元〉

4-①【研究成果還元】は、研究に関してご理解いただいている一方、保護者の皆様に研究内容やその成果が十分に伝わっていないというご意見もいただきました。今後は、たより等でもっと知っていただけるように発信をして参ります。

〈項目5 大学との連携〉

5-①【キャリアに拓く】は、大変高い評価をいただきました。附属小学校だからこそできる教育活動であり、今後も児童の発達段階に応じて、大学あるいは専門機関等と連携し、訪問先や内容など今まで以上に子供たちにとって有意義なものになるよう検討して参ります。

〈項目6 附属学校部との連携〉

6-①【附属学校部】に関して、現在幼小連携に力を入れています。1年生と附属幼稚園園児が交流をすることは、子供の発達にとって互いに必要な学びの場として必要な取り組みと位置付けています。今年度より鳥取県教育委員会と連携して「幼保小接続推進リーダー育成事業」に組み、教職員の幼保小の連携・接続に係る資質向上にも努めているところです。連携・交流の意図が伝わり、ご理解いただけるよう努めて参ります。

〈項目7 家庭・地域との連携〉

7-①【連携】と7-②【発信】は、ホームページ、マチコミでの情報発信について、高評価をいただいています。引き続き、適宜見ごたえのある映像を含めた子供たちの日々の様子をお伝えするとともに、必要な情報や本校の魅力を積極的に発信して参ります。一方、便りが多すぎるとのご指摘もあります。情報の精選、発信方法の改善を図って参ります。不審者に関する情報のその後については、関係機関からの情報提供を引き続き要望して参ります。

〈項目8 家庭の取り組み〉

8-①【家庭での様子】・8-②【学校からの連絡】より、日々お忙しい中、ご家庭で熱心に子供と関わろうとしておられる様子が伝わってきます。一方、低学年で学校からの持ち物等の連絡が十分でないのご指摘もいただいています。学校の取り組みの姿勢として、改善を図って参ります。

〈項目9 附属4校園共通アンケート〉

9-①「楽しく過ごしている」、9-②「友達と協力している。」、9-③「積極的（自主的）に学習に取り組んでいる。」、9-④「分かってくれる人がいると感じている。」より、先生の声掛けや友達とのかかわりが、楽しく学校に行ける大きな要素の一つとなっているようです。児童が何を考え、何を感じているのか、児童が楽しく学校に通える環境づくりに一層努めて参ります。自分のことを分かっている人がいないと感じている児童が無くなるよう、ご家庭での心の支えと励まし、学校での先生や友達との関係性作りをさらに大切にしていきたいと思います。

その他、全般について

図書館の利用、読書タイムを大切にしたい。もっと本に親しむ環境、図書館に行く環境を増やしてほしいとの声、不登校についての相談体制や学校全体としての取り組みについて詳しく知りたいのご要望をいただきました。また、服装、給食について等さまさまご意見・ご指摘・ご要望もいただいております。学校、家庭、保護者連携すべきことを一つ一つ改善に向けて取り組んで参ります。